心ゆたかに

三芳町立藤久保中学校 学校だより 第1号
学校教育目標 「自ら考え進んで行動する生徒」
令和4年4月8日(金)発行 文責 田川 一義

たね

『人皆に美しき種子あり 明日何が咲くか』

～「伸びる」「つながる」「乗り越える」～

新たに113名の新入生を迎え、2年生79名、3年生77名、全校生徒269名、教職員30名で、三芳町立藤久保中学校の令和4年度がスタートいたしました。新入生のみなさん、入学おめでとうございます。在校生のみなさん、進級おめでとうございます。私は、今年度2年目となります校長の田川 一義(たがわ かずよし)と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。新型コロナウイルス感染症の終息が見えず、長期化も予想され、この先も劇的に状況は変わらないのではないかと思います。そのような中、生徒の健康・安全を最優先に考え、学びを止めることなく、感染対策と教育活動を両立してまいります。

さて、右にある詩は、詩人の安積得也さんの「明日」という詩で、私が教員駆け出しの頃に、先輩の先生が教えてくれた詩です。

私たち教師や大人は、子どもたちの欠点や短所にばかり目が行き、つつい指摘や指導をしてしまいがちです。また子どもたち自身も自分が苦手なことや不得意なことばかりにとらわれ、悩んだり、周囲の人の優れた点をうらやましく思って、自信をなくしてしまったりすることがあります。

しかし、生徒たちには、誰にも自分にしかない良さが必ずあります。どんな環境にあってもたくましく、成長できる可能性があります。生徒たちには、ぜひ自分自身の良さや秘めたる可能性を信じ、同時に周りの人の良さや優れている点をうらやましがめるのではなく、自分の良さを認めた上で、相手の良さを受け止め、認め合っ欲しいと思っています。

特に詩の後半の「人皆に／美しき種子(たね)あり／明日何が咲くか」は、生徒一人一人、いつ、どんな芽を出し、どんな花を咲かせてくれるのか。大きな可能性を感じさせる言葉だと思います。

そしてもう一つ、今年度の藤久保中学校のキーワードとして、「伸びる」「つながる」「乗り越える」を掲げました。「伸びる」は、学力・体力をはじめ、自分の可能性を見つけ、自分の良さや長所を伸ばそうと努力する生徒の育成。「つながる」は、人間関係の希薄さが心配される今だからこそ、他者の良さを受け止め、人と人とのつながりを大切にする生徒の育成。「乗り越える」は、コロナ禍で様々な制限がある中、この厳しい状況を乗り越え、今後のあらゆる課題や壁に直面したとしてもあきらめず、その困難を克服していこうとする生徒の育成。

以上3つの言葉をキーワードとして教育活動を展開してまいります。また下に本校の学校教育目標を示しました。この目標を達成するため、教職員一丸となり、生徒たちに寄り添い、支援してまいります。

保護者、地域の皆様、今年度も藤久保中学校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

「明日」	はきだめに	えんど豆咲き	泥池から	蓮の花が育つ	人皆に	美しき種子あり	明日何が咲くか	安積得也
------	-------	--------	------	--------	-----	---------	---------	------

藤久保中学校 学校教育目標

- 学校教育目標 「自ら考え進んで行動する生徒」
- めざす生徒像 「自らよく考え意欲的に学ぶ生徒」
「心豊かで思いやりのある生徒」
「健康でたくましく生きる生徒」
- めざす学校像 「学びと笑顔に満ちた元気な学校」
- めざす教職員像「学びと笑顔に満ちた元気な教職員」
- めざす保護者像「子どもとともに歩み、夢をはぐくむ保護者」

1	金	4月の予定	16	土		
2	土		17	日		
3	日		18	月	耳鼻科検診①	
4	月		19	火	学校朝礼 全国学力・学習状況調査3年(国・数・理)	
5	火		20	水	心電図検診(1年)	
6	水		21	木		
7	木		準備登校	22	金	耳鼻科検診②
8	金		入学式(AM) 始業式(PM)	23	土	
9	土			24	日	
10	日			25	月	
11	月	給食開始 教科書配布	26	火	生徒会朝礼	
12	火	②入間郡数テスト ③1年国語テスト ③2.3年漢字テスト ⑤避難訓練	27	水	尿検査①	
13	水	身体測定	28	木	保護者会 短縮5時間授業 尿検査②	
14	木	新入生を迎える会	29	金	昭和の日	
15	金	専門委員会開き	30	土		

2. 3年生準備登校ありがとう！

昨日、4/7(木)は、新2.3年生の準備登校でした。主に新2年生は校舎内の清掃や机・いすの移動等を、新3年生は、入学式の式場準備を担当してくれました。おかげで、4/8(金)に予定していた入学式、始業式を無事に終えることができました。ありがとうございました。